ブラタモリにも教えたい小諸のお宝

歴史の町のお宝探し

ブラ岩ちゃん

加藤岩男

1，活動目的

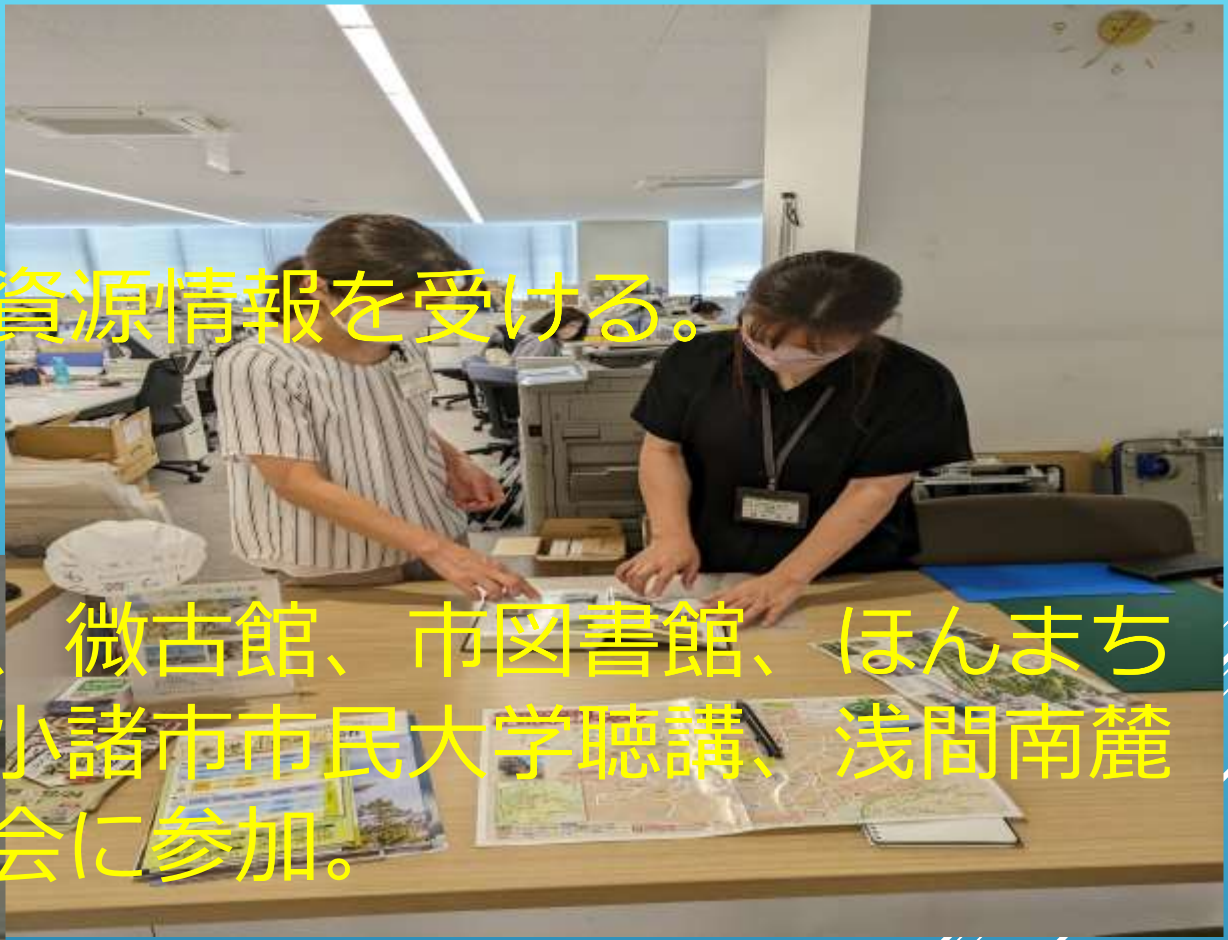
小諸は浅間山の南麓に位置した歴史的、地形・地質的に魅力あるお宝が沢山あるのに、全国的に知られていない。

多くの人に知ってもらうため「ブラタモリ」の気持ちになりお宝探しをする。

2，期待効果

小諸のお宝をPRすることによりNHK番組「ブラタモリ」のロケ地招致のきっかけになる。

3，活動内容



⑴、小諸市商工・観光課にて観光資源情報を受ける。

⑵、情報を基に、小諸城址懐古園、徴古館、市図書館、ほんまち町屋館、縄文ミュージアム、小諸市市民大学聴講、浅間南麓ジオパークにしよう運動勉強会に参加。

(3)、小諸市民大学主催による小諸城址懐古園現地説明会参加。

(4)、小諸城址、北國街道小諸宿について、こもろガイド協会
清水副会長のレクチャー及びアドバイスを受ける。

⑸, ほんまち町屋館大塚館長に北國街道小諸宿、小諸城祉の不思議八つの門についての説明を受ける。

⑹, 「ブラタモリにも知らせたい小諸のお宝」本編、資料編の作成及び添削を清水副会長に依頼。

⑺,「ブラタモリにも知らせたい小諸のお宝」本編、資料編の作成完了。

⑻、NHK日本紀行・教養バラエティー番組「ブラタモリ」ロケ地招致の提案書作成。共同提案者調整中。

4，探索提案コース

⑴、スタラス小諸スタート ⟶ 小諸市、浅間山の全景をる

● 「STARRACEKOMORO」はpark-PFIを活用し「小諸市飯綱山公園官民連携魅力向上事業」にて開始する。

● 「農業で人と人をつなぎ、ふれあいを生み出す」コンセプト。

●ワイナリーショップ、本格レストラン等ワインに関する情報発信。

●シンボルである小諸高原美術館、ドラッグラン等併設　自然と眺望豊かな公園。

⑵、小諸市の概要・地理の説明（本編P2資料集P１）

●標高600m～2000m　浅間山の南斜面に広がり中央に千曲川が流れる、詩情豊かな高原都市。東京から150kmアクセスで住みやすい町。人口41565人。

●国内屈指の晴天率。（平成26年の晴天率85%）

●千曲川を挟んで洪積台地と浅間山の火砕流堆積物から構成。

●河川などの浸食により「田切地形」を構成。

⑶、浅間山噴火の歴史と恵み（本編P２～３資料集P2～３）

●黒斑山山体崩壊と塚原泥流。（約23000~50000年前）

●仏岩溶岩の堆積物。（約21000年前）

●前掛山の形成と釜山の誕生。（西暦1108年・約10000年前）

●天明の噴火。（西暦1783年前）

●温泉の町小諸、九つの源泉と十の温泉。

⑷、小諸の地盤（本編P3資料集P6）

- 火砕流堆積物からなる軽石台地と洪積台地である御牧ヶ原台地で構成。

- 河川の浸食により田切地形を形成。

- 千曲川の侵食による河岸段丘崖。

七五三掛（しめかけ）城跡の田切地形

⑸、小諸城址懐古園（本編P3~P14資料集P7~P20）

小諸城址（懐古園）航空写真による全景

小諸城址の三の門が鉄道より低い箇所にある

小諸城址は、千曲川の断崖を守りとするため城下町より低い位置にあり、田切地形をしろの城郭として活かした、日本で唯一現存する「穴城」である。

●小諸城址懐古園のお宝探し

●小諸城の歴史。

●小諸城の五つの特徴。

●小諸城の「惣構え」穴城。

●小諸城の田切地形と河岸段丘崖。

●小諸城の野面積みの石垣。

●小諸城址懐古園遺構探索。

寛文3年（1663年）小諸城内絵図

⑹、北國街道（坂の町）小諸宿（本編P15~P36)

- 「信仰の道」北國街道の一部は善光寺街道とも言われた。

- 「牛に引かれて善光寺参り」伝説の布引観音。

- 「参勤交代の大名行列の道」北陸諸国の大名行列が小諸宿を通った。

- 「金の道」江戸幕府により佐渡金山が開発され金を運ぶ通り道となった。

北國街道と五街道路線図

●北國街道小諸宿四つのエリア

- ●与良・俳句の町エリア。
- ●荒町お洒落の町エリア。
- ●商家の街並み・本町エリア。
- ●江戸時代にタイムスリップした
  大手門・本陣の町・市町エリア。

⑺、布引観音・釈尊寺（本編P37~P42)

- ●布引観音・釈尊寺に伝わる「牛に引かれて善光寺参り」伝説。

- ●断崖絶壁の観音堂宮殿。（国重要文化財）

- ●布引山地層及び布岩。

断崖絶壁の布引観音堂

観音堂入口

宮殿（国重要文化財）

伝説の布「布岩」
（布引層中にできた凝灰岩）

⑻、文学の町小諸（本編P43～P50）

●島崎藤村（詩人・小説家）

●明治32年、恩師木村熊二が小諸に開塾した小諸義塾に招かれる。

●文芸雑誌「明星」に「旅情（小諸なる古城のほとり）」発表。

●小諸在住「千曲川のスケッチ」の草稿を書き始める。

●小諸には足掛け6年間暮らした。

「千曲川旅情の歌」島崎藤村

●木村熊二（キリスト教教師・教育者）

●小諸義塾を開塾

●洋桃や苺の植栽・缶詰製造を奨励、鉱泉を掘削して中棚温泉の礎を築く等地方産業にも大きく貢献した。

●高濱虚子（俳人・小説家）

●明治19年、太平洋戦争の戦火を逃れるため、小諸に疎開。

●小諸の自然や風土を詠んだ「小諸百句」、疎開生活の様子をまとめた「小諸雑記」、小説「虹」が生まれた。

木村熊二が開塾した小諸義塾

高濱虚子が住んでいた「虚子庵」

●小山敬三（洋画家）

●小諸で生まれ、村野藤吾設計の小山敬三美術館を完成させ、代表作31点と完成した美術館を寄贈した。

●代表作に「浅間山黎明」がある。

代表作「浅間山黎明」

●白鳥映雪（日本画家・日本芸術院会員）

●小諸生まれ、美人画の伊藤深水に師事、後継者として日本画界を牽引。

●「不屈の画家」と称される。代表作に「羽衣」「立秋」がある。

代表作「立秋」

⑼、活動を終えて

　小諸市在住の多くの方々と出会い、話を聞くことが出来大変良かった。何度も何度も街中、小諸城址及びその周辺を歩き写真を撮り、知らない人に声をかけ、不審がられたこともありましたが、多くのお宝を再認識しました。

　他県出身で、ほとんど小諸での生活経験が少ない私にとっては、これからの小諸での生活をする上での大きな自信につながりました。皆さん本当にありがとうございました。

またきっかけを作って頂いたシニア大学に感謝します。

ご清聴ありがとうございました